

# 海外渡航報告書

鹿児島工業高等専門学校

グローバル高専事業	
渡航期間	平成28年9月3日(土)～平成28年9月17日(土)
渡航先	アメリカハワイ大学カウアイ・コミュニティ・カレッジ
渡航者 (所属校)	塚崎香織(鹿児島高専)
	野澤宏大(鹿児島高専)
訪問内容 ・場 所 ・目 的	① ハワイ大学カウアイ・コミュニティ・カレッジ研修プログラム引率
	②
	③
	④
	⑤
報告・結果 今後の取組み	<p>①KELA(語学プログラム)にて、語彙と英会話を体系的に学習した。Online教材Quizletで、滞在時の自由時間及び帰国後の1年間は語彙の学習が可能。長期的な英語学習に繋がり、語彙力アップが期待できる。現地日本語クラスの学生との交流を通して英会話、英語プレゼンテーションの練習を行った。</p> 
	<p>②GPSとGISの仕組み:座学で学んだ後、11名の学生が交代でGPS機器に登録された地点を探し、キャンパス内オリエンテーリングを行った。情報工学科の3年生にとっては既知の内容を英語で再度勉強することになり、興味深かったようである。</p> 
	<p>③物理実験(金属の比熱):本校では2年生で学習する内容であるため、1年生にとってはハードルが高かった。2年生以上は、比熱の値が教科書値からずれた原因について英語で答えるなど、協力しながら熱心に取り組む様子が見られた。</p> 
	<p>④Roboticsの授業:一人ないし二人組で、規定のコースを往復するようマイコンカーをプログラミングし、そのタイムを競い合った。各チーム入念に試走・調整を行った上で臨み、コンペは白熱した。さらに、小型ロボット・アームの操作も経験した。</p> 
	<p>⑤Biomimicsの授業:国立の植物園にて、エンジニアの卵として、自然の知恵を学ぶBiomimicsの授業を受けた。進化の過程において、植物の形態にはすべて理由(機能性)があることがわかり、興味深かった。植物学者に積極的に質問する様子が観察された。</p> 
備考	研修2回目のプログラム内容を振り返り、高専生のためのインターシップに相応しい内容に今後ともブラッシュアップしていきたい。

作成日 平成28年9月30日

記録:塚崎 香織